第15回 子ども・若者ケアラーを テーマにした事例検討会

子どもや若者を資源としてだけ見ていませんか。

家族のケアを担う子どもや若者は
進学，就職や結婚など
人生の転機をどのように迎えているのでしょうか。

社会的課題として，
個別ケースから学びませんか。

2021 年 12 月 18 日（土）

13：00 ～ 16：00（12：30 開場）

ケアをめぐる家族の葛藤
～きょうだいケアラーと親ケアラーの視点から～

- 障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている
- 家族に代わり，幼いきょうだいの世話をしている
- 障がいや病気のある家族の通院などをサポートしている
- 目を離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている
- アルコール・薬物・ギャンブル依存などの問題のある家族に対応している
- 労働による収入が，家族にとって重要な収入源となっている
- 他の家族に代わり，買い物・料理・洗濯・掃除などの家事をしている
- 日本語が第一言語でない家族や障害のある家族のため通訳をしている

定期的に当事者のつどいを実施しています。
日時：毎月第 2 土曜日　14：00 ～ 15：30
場所：京都市中央青少年活動センターまたはオンライン開催（要確認）
参加対象：中学生～３０歳までの子ども・若者ケアラー当事者または経験者
内容：それぞれの経験や感じていることを話したり，聞いたりする時間です。
ご希望の方は京都市ユースサービス協会事務局までお問い合わせください。

詳しくは協会 HP をご覧ください。

京都はぐくみ憲章

この印刷物が不要になれば
「雑がみ」として古紙回収等へ

後援：京都市教育委員会 (申請中)